

令和7年度 和歌山県 地域おこし協力隊 ステップアップ研修

日々の活動に一生懸命取り組む中で、ふと「自分はこの地域で、どんな未来を描きたいのだろう。」「いま取り組んでいる活動は、自分の目指す方向に向かっているのかな。」そんな想いを抱いたことはありませんか？本研修では、自分とじっくり向き合う“個人ワーク”を中心にこれまでの歩みを振り返りながら今後の活動の方向性や「地域でのありたい姿」を言語化し、“見えるカタチ”で整理する「ロードマップ作成」に取り組めます。

同時期に活動する地域おこし協力隊仲間との情報共有や近況報告、先輩隊員の事例。専門講師や協力隊経験者とのコミュニケーション。想いや迷いを言葉にしてみることで、これからの地域との関わり方や、自分らしい活動のヒントが見えてくるかもしれません。
また、活動を定点的に振り返る「ロードマップ」という手法を学ぶことで、日々の取り組みをより主体的に進める視点を体感し、これからの一步を前向きに、自身の中で確かなものにしていきましょう！



タイムスケジュール



令和6年度の様子

開催期間

9/30 火
13:30~17:00
(13:00 開場)
~10/1 水
9:00~12:00

講師

大分県地域おこし協力隊サポートチーム
総務省地域力創造アドバイザー

古川 寛氏



会場

秋津野ガルテン
(和歌山県田辺市上秋津 4558-8)

費用

¥8,900 / 1名
(1泊2食分実費)

※申込状況により変動する可能性があります。
詳細は開催要領をご確認ください。

申込方法

申込連絡表の提出
※提出期限：9月12日(金)

元熊本県和水町の地域おこし協力隊。2012年着任、2015年退任。現役時代は、フリーミッションで地域を駆け回り、地域の人たちの活動を支援していた。地域振興や農業支援、ブランディング、加工品開発、移住支援や空き家対策など活動の幅は広い。任期後は地域生産者の状況改善のために、生産者の利益の確保を目標とした農作物を販売する法人を立ち上げるも、市場経済の厚い壁に阻まれ、生産者の利益を守るか、法人を存続させるかの二択の末、法人を解散。人の縁から地域づくりのコンサルタント会社に勤めることとなり、その後、独立し、今に至る。現役時代より地域おこし協力隊の交流と学びの場として研修会を行っており、総務省の研修会の講師も務める。その背景から大分県の事業に携わることとなった。心理的安全性アンバサダー。

主催 和歌山県 地域振興課 運営・申込先 (一社) わかやま地域おこし協力隊ネットワーク